

2022 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 静岡厚生会

# 社会福祉法人 静岡厚生会

## 経 営 理 念

私たち法人は、幾年月人生を重ねてこられた人々の幸せを願い心癒される豊かな暮らしの実現を目標に社会福祉法の理念に則り次のことを業務の基本とします。

### 安定した経営

介護保険を取り巻く環境の変動に視点を据え、将来を展望し地域福祉を担う法人の継続的・安定的経営を目指します。

### 地域への貢献

法人のあるべき姿を追求すると共に、地域社会の介護サービスの充実のため中心的役割を果たします。

### 適切な支援

法人の基本理念に則り、思いやりと優しさで接し、人として尊び、人権に基づく介護の実践に努めます。

## 行 動 指 針

施設は、利用者が安心して生活ができるよう健全な環境のもとで、思いやりと優しさで接し、人として尊び、人権に基づく介護の実践に努めます。

### 五つの誓い

- 1 私達は、利用者の豊かな経験を尊敬し人格を尊重いたします。
- 2 私達は、親切・丁寧・迅速な対応に努めます。
- 3 私達は、共に語り共に喜び明るい職場づくりに努めます。
- 4 私達は、誠意・積極・自己研鑽により利用者の信頼を得るよう努めます。
- 5 私達は、地域の人々との連携を深め、地域社会と共に歩む事業の運営に努めます

# 総 括

今年度は、新型コロナウイルス第6波(3月)の収束の中で始まり、コロナ禍の終焉への願いと共に、本会の活動も本格的に再開できるものと期待していました。しかし第7波(7～8月)、第8波(12～1月)の流行により、利用者や職員、そしてその家族や法人運営まで大きな影響を受けました。特に、第7波の流行期、新緑の郷ではショートステイ利用者の入所翌日の発熱で発覚し、13日間に特養入所者10名、職員7名の計17名が感染し23日間の感染対策を要しました。また、清流の郷でも、職員の同居家族間での感染を発端とした集団感染が発生、13日間に特養利用者11名が感染し、新緑の郷同様に収束まで23日間の対策を要しました。特に、清流の郷では、2度目の集団感染でしたが、迅速な対応により職員への感染を防ぐことができました。両施設共に、他へ拡散せず23日間で終息できたのは、日々の感染予防対策や体調変化者や発熱者の早期発見、両施設間相互の情報の共有と検査実施基準のルール化等、職員及び施設や法人が一体となって取り組んだ結果と思います。同期間、通所介護においては、利用者間の感染はありませんでしたが、この流行期の学校や保育園の閉鎖に伴う保護者としての休暇や家族感染に伴う自宅待機等が重なり、配置要員不足のため2事業所併せて13営業日(定員延べ455名)を臨時休業としました。

更に9月には、台風15号による被害もありました。23日夜から24日朝方まで集中豪雨が発生し、七夕豪雨(1974年7月)以来の記録的な大雨が静岡市を襲いました。深夜2時に送電網が停止し午後2時までの12時間余の停電がありました。清流の郷では災害用発電機が起動し大きな問題はありませんでした。新緑の郷では、土間上浸水によりダイルームと事務室が浸水、エレベーターピットも冠水するなどの被害がありました。しかし、深夜の排水作業、未明の関係業者への手配、早朝出勤によるダイルームの清掃・消毒作業によって復旧、停電や断水等、市内において甚大な被害を受けた地域も少なくない中で、本会施設における被害影響は最小限に済んだものと思います。

こうした中で、化石燃料や小麦粉の高騰をはじめとする物価上昇は、利用者の安心と安全を提供する本会の施設経営に大きな影響を与えています。まずは、感染対策上欠かせない石油製品や介護に必要なパルプ製品等、介護材料や保健衛生品、光熱水費が値上がりしています。特に電気料金は換気による使用量の増加も加わり、過去の1.5～1.7倍までの料金となり、今後、更なる経営努力が必要になるものと思います。

以上、本年度は集団感染や台風被害、物価高騰等の課題への対処の一年でしたが、このたび、一年の事業を無事終了できるのは、利用者やご家族、職員はじめ、多くの関係者の皆様方のご理解とご支援によるものと感謝しております。次年度につきましても、引き続きご支援とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

2023年3月

社会福祉法人 静岡厚生会  
代表理事 榎本 雅亮

## 【法人の主要事項】

- 2022年04月
  - ・ 事業進捗状況ヒアリング(-2022年3月)
  - ・ 新人職員100日プログラム開始(-8月まで新卒4名)
- 2022年05月
  - ・ 執行委員会
  - ・ 監事監査
  - ・ 葵区民生児童委員協議会全体研修会 講演
- 2022年06月
  - ・ 居場所づくり「い〜とこあんざい」再開 (8月~9月は第7波により再度休止)
  - ・ 「長期計画の策定について」評議員会可決
  - ・ 第69回2022年度定時評議員会/第190回理事会
- 2022年07月
  - ・ 事業進捗状況ヒアリング(-2023年6月)
- 2022年08月
  - ・ 第4回 新型コロナワクチン接種
  - ・ 清流の郷 デイサービス 臨時休業(5日間)
  - ・ 新緑の郷 デイサービス 臨時休業(8日間)
  - ・ 清流の郷 施設内 新型コロナウイルス集団感染発生(利用者11名内死亡1名)
  - ・ 新緑の郷 施設内 新型コロナウイルス集団感染発生(利用者10名内死亡1名)
- 2022年09月
  - ・ 執行委員会
  - ・ 特定技能 外国人受入制度 勉強会
  - ・ 台風15号により新緑の郷 土間上浸水による罹災
  - ・ 2013年度新規学卒採用内定式
- 2022年10月
  - ・ 事業進捗状況ヒアリング(-2023年9月)
  - ・ SBSラジオ「しずおか元気応援月間」出演(デイサービスセンター新緑の郷)
- 2022年11月
  - ・ 執行委員会
  - ・ 監事監査
  - ・ 経営分析会議/193回理事会
  - ・ 全職員 静岡県抗原検査キット 毎週2回(火・金)実施 (-2023年3月末)
  - ・ 外国人実習生受入れアンケート実施(受入7割が肯定)
- 2022年12月
  - ・ 194回理事会
  - ・ 静岡市行政指導監査
- 2023年01月
  - ・ 執行委員会
  - ・ 第5回 新型コロナワクチン接種
  - ・ 事業進捗状況ヒアリング(-2023年12月)
- 2022年02月
  - ・ 技能実習生 外国人受入制度 勉強会
  - ・ 食材高騰による厨房委託業者との料金改定協議
- 2022年03月
  - ・ 執行委員会
  - ・ 195回理事会
  - ・ 2023年度新卒採用職員(4名)父兄との面談及び業務内容と施設説明見学
  - ・ リフト付送迎車両整備事業終了(清流の郷2台 2ヵ年 計5台)

## 法人本部 計画と目標の総括 (法人本部長 松田 晃)

(ア) 次世代への事業継承のため長期活動計画の策定準備に着手する。

2月に中長期計画策定準備室を設置して専任担当職員として室長を配置、今後の日程や会議体、策定方針や策定要綱について検討準備を進め、2023年度からの策定準備(総合企画室)体制を整えました。

(イ) 次世代を担う職員育成と人材開発の強化を図る。

はじめて外部の介護育成システムを導入し、チームの成長を目的に新卒者と指導者の相互の人材育成プログラム(100日プログラム)を実施しました。課長他指導職4名の次世代を担う中堅職員が参加し、4名の新人職員と共に、指導を通じて自己評価を行い、指導者としての変化(成長)を促しました。

(ウ) 介護職員の処遇を改善と共にコロナ禍での経営の安定を持続する。

新たに介護職員の処遇改善として制度化された「介護職員等ベースアップ等支援加算」(ベア加算)については、4月より当該制度の趣旨に沿って介護従事者に常勤1名あたり月額8,800円分を業務資格手当とて上乗せをしました。また、物価高騰に対しては、社会福祉施設等原油価格・物価高騰支援金(静岡市)、介護サービス事業所等物価高騰対策支援金(静岡県)の給付を受けたほか、年度内資金から一部運転資金の借入金を繰上げ償還して利息の圧縮に努めました。

(エ) SDGs へのシフト化と事業の継続に重点をおく。

総務部、清流の郷、新緑の郷の計画と目標を、本年度はじめてSDGsの17の目標に沿って分類化を図りました。単年度を終了にあたり、改めて策定される中長期計画の中で事業の継続とSDGsへのシフト化を図り位置づけを明確していきます。

(オ) 地域の自治会及び民生児童委員活動を支援する。

民生委員・児童委員や地区社会福祉推進協議会役員の改選等もあり、情報交換や新任委員との交流に努めました。また、新型コロナウイルス流行期を除いて居場所づくりの再開への協力を行いました。地区社会福祉推進協議会の運営支援のほか、コロナ禍で中止、解散した「でん伝体操」については、地域貢献の一つとして本会の主催にて再開できるよう地域関係者と共に準備にむけた協議を行いました。

# 総務部 計画と目標の総括（総務部長代行 石川 貴生）

## 1. 総務部

- (ア) 厚生苑(清流の郷・新緑の郷)の両施設と協働して、事業継続(BCP)に必要な計画の策定を行う。

BCP の作成については、厚生労働省・静岡県他の作成ツールを用いて特養の自然災害編、感染症対策編作成に着手しましたが、完成には至りませんでした。今年度台風被災やクラスター発生を経験したことで得た知見を活かし、次年度策定完了を目標とします。

- (イ) 労働時間の見える化と労務運用の効率化を図るため、新たな勤怠管理システムへの移行を進める。

導入候補となった勤怠管理システムを試験運用し、職員登録手順の確認やタブレット端末を用いた出退勤時の打刻の定着化を図りました。同システムを用いた出退勤管理と給与計算、そのためのシステム設定の確認を行いました。設定まで行えず、引き続き次年度の目標とします。

- (ウ) 職員一人ひとりにとって働きやすい職場環境の実現のため、ワーク・ライフ・バランスやハラスメント防止などの研修会を年2回以上開催する。

Web アンケートフォーム、クラウド型ビジネスチャットツール、Web 動画などを用いて、ハラスメント防止規程、副業・兼業規程 及び 懲戒処分規程、パパ育休制度の研修会を3回に分けて実施しました。研修会に ICT を活用したこと自体も働きやすい職場環境の実現に寄与しました。

- (エ) 災害発生時などの電話連絡網からメールや SNS を活用したコミュニケーションツールへの移行を進める。

連絡手段（メール・SNS・SMS など）、利用料金、機能などの比較検討を行ないました。職員個人情報収集保護、普遍的な連絡手段、負担とにならない利用方法といった観点から、携帯電話番号を用いた SMS を連絡手段として用いたツールを導入候補としました。移行は次年度の目標とします。

- (オ) より厳格な情報管理を行うため、職員の IT 技術スキルの向上や対応ソフト、情報機器の更新とセキュリティの強化を行う。

IT リテラシー向上については、IT パスポート・スマート介護士の受験推奨や、法人内研修実施について検討しましたが、実施には至りませんでした。情報機器の更新は行なえましたが、セキュリティ機器・ソフトについては検討段階に留まりました。これらの整備を次年度の目標とします。

- (カ) 設備・機器の一元管理体制を整えると共に、今後必要な保守・保全計画を策定する。

設備・機器の保守管理の一元化のためリスト作成から取り組みましたが、作成に至りませんでした。原付バイク・電動自転車は法定点検を要する車両と一元的に管理することで定期的な保守を行なえています。これらを参考に定期的に保守管理が行える仕組みの構築を、次年度の目標とします。

## 1. 法人概要

- 1 法人名 社会福祉法人 静岡厚生会
- 2 代表者 榎本 雅亮
- 3 所在地 静岡市葵区北番町 17-5
- 4 認可日 1979年 11月 26日
- 5 登記日 1980年 1月 23日
- 6 組織

〔顧問〕	鈴木 脩造	〔役員〕	理事長	榎本 雅亮
〔相談役〕	芹澤 博		専務理事	松田 晃
	寺尾 恵亘		理事	中川 恵美子
〔評議員〕	小野田ふみ子		理事	中山 千砂子
	河俣 貴之		理事	海野 フミ子
	坂野 浩義		理事	内藤 孝二
	鈴木 文隆		監事	長 嶋 吉宏
	鈴木 洋一		監事	大石 哲生
	谷 功			
	中村 敏六			
	山本 正樹			

〈2023年 3月 31日現在〉

## 7 活動拠点

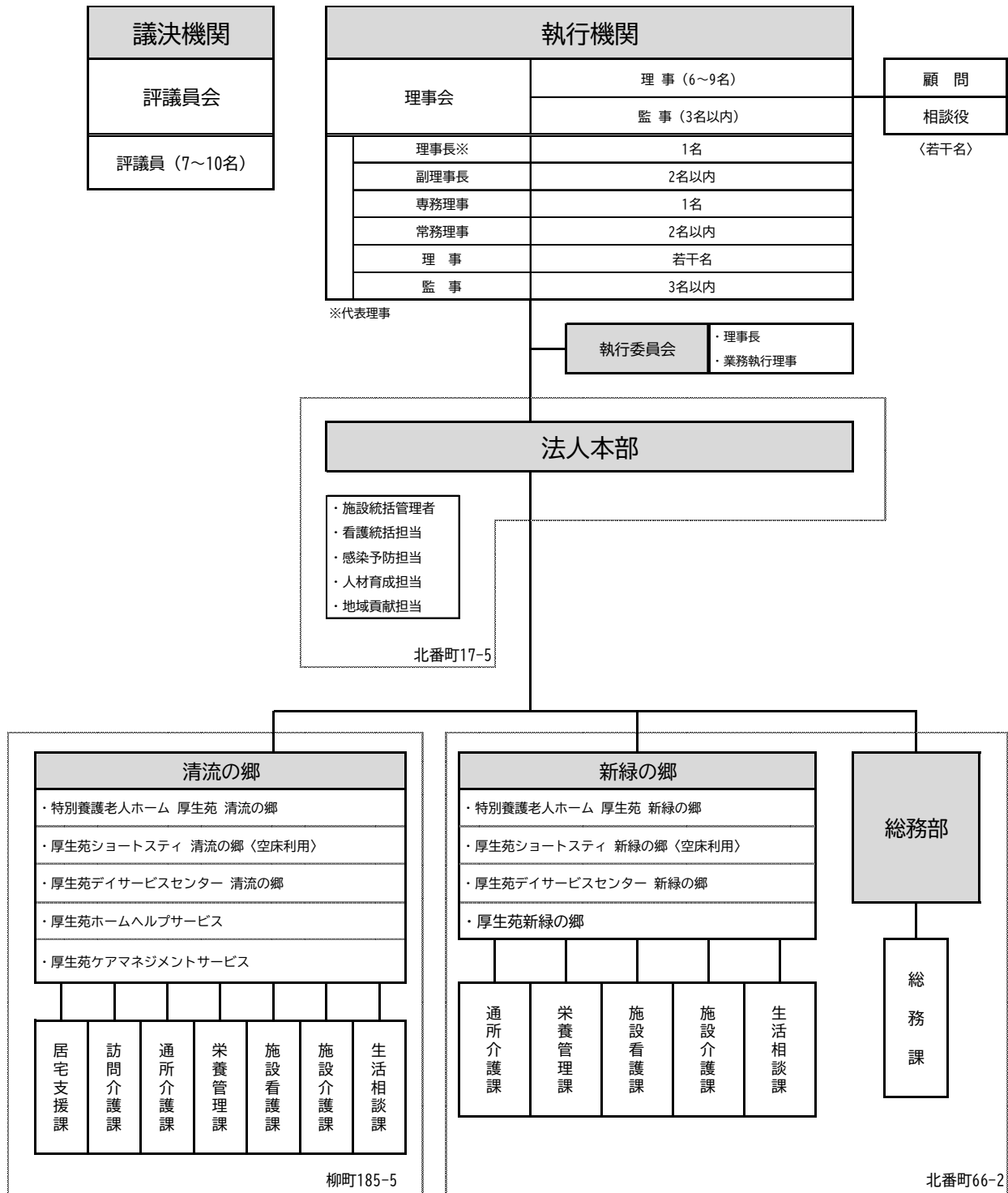
拠点名	所在地	敷地	建物	構造
厚生苑 さくらの郷	静岡市葵区北番町 17-5	347.19 m <sup>2</sup>	643.54 m <sup>2</sup>	鉄骨 3階建
厚生苑 清流の郷	静岡市葵区柳町 185-5	3,295.49 m <sup>2</sup>	6,358.75 m <sup>2</sup>	鉄骨 4階建
厚生苑 新緑の郷	静岡市葵区北番町 66-2	1,773.36 m <sup>2</sup>	3,350.73 m <sup>2</sup>	鉄骨 4階建

## 8 実施事業

事業部門 (管理者)	実施事業	定員	開始日
厚生苑 清流の郷 (施設長 大橋 豊)	特別養護老人ホーム	120人	1980年 6月 1日
	ショートステイ (空床利用)	-人	1982年 11月 12日
	デイサービスセンター	35人	1996年 4月 1日
	ケアマネジメントサービス	-	1999年 10月 1日
	ホームヘルプサービス	-	1996年 4月 1日
厚生苑 新緑の郷 (施設長 武田 剛)	特別養護老人ホーム (10床休止中)	40人	2005年 9月 1日
	ショートステイ (空床利用)	-人	2005年 9月 1日
	デイサービスセンター	35人	2005年 9月 1日
	ケアマネジメントサービス	-	2010年 9月 1日
厚生苑 さくらの郷 (責任者 松田 晃)	デイサービスセンター	5人	2021年 4月 1日
	在宅(老人)介護支援センター	-	2017年 7月 3日

9 組織図

社会福祉法人 静岡厚生会





10 職員配置状況

		雇用形態	管理者	介護職員	訪問介護員	看護職員	機能訓練指導員	主任介護支援専門員	生活介護支援専門員	介護支援専門員	管理栄養士	労務職員	運転手	施設駐在員	総務部付	産休育休者	総計	
厚生苑 さくらの郷	法人本部 総務部	正規職員	2												2		4	
		有期職員	1			1							1		1		4	
		計	3			1							1		3		8	
	人材育成室 地域貢献室 (老人介護支援センター)	正規職員																
		有期職員														1		1
		計													1		1	
	拠点計	正規職員	2													2		4
		有期職員	1			1							1			2		5
		計	3			1							1		4		9	
厚生苑 清流の郷	施設介護	正規職員	1	44		4	1		1	1					2	1	55	
		有期職員		9		6	1		1	1	2			3			23	
		計	1	53		10	2		2	2	2			3	2	1	78	
	通所介護	正規職員		1					2									3
		有期職員		5		2	1		1				1					10
		計		6		2	1		3				1					13
	居宅介護支援	正規職員							1	1								2
		有期職員							2	2								4
		計							3	3								6
	訪問介護	正規職員			2													2
		有期職員			6													6
		計			8													8
	拠点計	正規職員	1	45	2	4	1	1	4	1						2	1	62
		有期職員		14	6	8	2	2	4	1	2	1	3					43
		計	1	59	8	12	3	3	8	2	2	1	3	2	1			105
厚生苑 新緑の郷	施設介護	正規職員	1	16		3			1	1							22	
		有期職員		4										4		1	9	
		計	1	20		3			1	1				4	1	31		
	通所介護	正規職員		3					2									5
		有期職員		3		2	1						1					7
		計		6		2	1		2				1					12
	居宅介護支援	正規職員	1															1
		有期職員																
		計	1															1
	拠点計	正規職員	2	19		3			3	1								28
		有期職員		7		2	1						1	4		1		16
		計	2	26		5	1		3	1			1	4		1		44
法人全体	正規職員	5	64	2	7	1	1	7	2					4	1		94	
	有期職員	1	21	6	11	3	2	4	1	3	2	7	2	1			64	
	計	6	85	8	18	4	3	11	3	3	2	7	6	2			158	

2023年3月31日現在(単位:人)

## II. 法人運営状況

### 1 理事会（開催回数 7 回）

回数	開催日時等	理事出席／総数 〔監事出席／総数〕	審議事項・報告	
1 (第 189 回)	2022 年 5 月 24 日 (火) 午後 2 時 00 分から午後 3 時 10 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	6 人／6 人 (2 人／2 人)	報告	①理事長専決事項
			議題	①業報告及び計算書類等の承認の件 ②中長期計画の策定についての件 ③評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定の件
2 (第 190 回)	2022 年 6 月 16 日 (木) 午後 3 時 45 分から午後 4 時 10 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	6 人／6 人 (2 人／2 人)	議題	①借入金の繰り上げ償還の件 ②2022 年度 第一次補正予算の件
3 (第 191 回)	2022 年 6 月 29 日 (水)	決議の省略 により開催	決議 事項	①パートタイマー・非常勤職員等就業規則改正の件
4 (第 192 回)	2022 年 9 月 23 日 (金)	決議の省略 により開催	決議 事項	①パートタイマー・非常勤職員等就業規則改正の件 ②育児・介護休業等に関する規定改正の件
5 (第 193 回)	2022 年 11 月 14 日 (月) 午後 4 時 15 分から午後 4 時 45 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	6 人／6 人 (2 人／2 人)	報告	①理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告の件 ②新型コロナウイルス感染症拡大による影響の件 ③台風 15 号による被害に関する件
			議題	①重要な人事に関する件
6 (第 194 回)	2022 年 12 月 22 日 (木) 午後 2 時 00 分から午後 4 時 45 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	6 人／6 人 (2 人／2 人)	議題	①2022 年度第二次 収支補正予算の件 ②重要な職員の任免の件
7 (第 195 回)	2023 年 3 月 30 日 (木) 午後 2 時 00 分から午後 4 時 25 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	6 人／6 人 (2 人／2 人)	報告	①社会福祉施設指導監査の実施結果の件
			議題	①収支予算変更の件 ②厨房委託料の変更の件 ③組織の変更の件 ④重要な人事の任免の件 ⑤事業計画及び収支予算の件 ⑥規程の変更の件

### 2 評議員会（開催回数 1 回）

回数	開催日時等	理事出席／総数 〔監事出席／総数〕	審議事項・報告	
1 (第 69 回)	2022 年 6 月 16 日 (木) 午後 2 時 00 分から午後 3 時 30 分まで 於：厚生苑さくらの郷 3 階 地域交流室	7 人／8 人 (2 人／2 人)	議題	①2021 年度 計算書類及び財産目録の承認の件
			報告	①2021 年度 新型コロナウイルス苑内発生対応報告の件 ②2021 年度 事業報告書の件 ③2022 年度 事業計画書及び収支予算書の報告の件 ④2022 年度 中長期計画の策定についての件

### 3 監 査（開催回数 3 回）

開催日時等	実施立会	監査項目
<p>監事監査[決算監査]</p> <p>2022年5月23日(火)</p> <p>午前9時30分から午後3時45分まで</p> <p>総務部</p> <p>厚生苑 清流の郷</p> <p>厚生苑 新緑の郷</p>	<p>監 事 長 長 嶋 吉 宏</p> <p>大 石 哲 生</p> <p>理 事 長 榎 本 雅 亮</p> <p>専 務 理 事 松 田 晃</p> <p>理 事(看護統括) 中 川 恵 美 子</p> <p>理 事(施設統括) 中 山 千 砂 子</p> <p>総 務 部 長 江 田 仁</p> <p>清 流 の 郷 施 設 長</p> <p>大 檐 豊</p> <p>新 緑 の 郷 施 設 長</p> <p>武 田 剛</p>	<p>「監事のための監査チェックマニュアル(改訂第14版)」による2021年度決算監査</p> <p>(業務監査)</p> <p>行政監査の指摘事項確認と改善状況、定款の状況、理事の業務執行状況、登記の状況、事業全般の状況、施設運営の状況、社会福祉充実計画、事業報告及び附属明細書</p> <p>(会計監査)</p> <p>予算の編成・執行状況、事業区分・拠点区分・サービス区分と帳簿の整備状況、残高確認と実査、計算書類・附属明細書の妥当性、介護保険関連施設</p>
<p>監事監査[定期監査]</p> <p>2022年11月8日(火)</p> <p>午前9時30分から午後4時00分まで</p> <p>総務部</p> <p>厚生苑 清流の郷</p> <p>厚生苑 新緑の郷</p>	<p>監 事 長 長 嶋 吉 宏</p> <p>大 石 哲 生</p> <p>理 事 長 榎 本 雅 亮</p> <p>専 務 理 事 松 田 晃</p> <p>理 事(看護統括) 中 川 恵 美 子</p> <p>理 事(施設統括) 中 山 千 砂 子</p> <p>総 務 部 長 江 田 仁</p> <p>清 流 の 郷 施 設 長</p> <p>大 檐 豊</p> <p>新 緑 の 郷 施 設 長</p> <p>武 田 剛</p>	<p>「監事のための監査チェックマニュアル(改訂第14版)」による2022年度定期監査</p> <p>(業務監査)</p> <p>行政監査の指摘事項確認と改善状況、定款の状況、理事の業務執行状況、登記の状況、事業全般の状況、施設運営の状況、危機管理の状況、入所者預り金の管理状況、情報開示、特別の利益供与の禁止、社会福祉充実計画</p> <p>(会計監査)</p> <p>内部牽制組織の状況、収入と支出、物品購入と契約、介護保険関連施設</p>
<p>静岡市</p> <p>社会福祉施設指導監査</p> <p>(実施:静岡市福祉総務課)</p> <p>2022年12月20日(火)</p> <p>2022年12月21日(水)</p>	<p>監 事 長 長 嶋 吉 宏</p> <p>理 事 長 榎 本 雅 亮</p> <p>専 務 理 事 松 田 晃</p> <p>理 事(看護統括) 中 川 恵 美 子</p> <p>理 事(施設統括) 中 山 千 砂 子</p> <p>総 務 部 長 代 行 石 川 貴 生</p> <p>清 流 の 郷 施 設 長</p> <p>大 檐 豊</p> <p>厚 生 苑 新 緑 の 郷 施 設 長</p> <p>武 田 剛</p>	<p>「令和4年度社会福祉施設(特別養護老人ホーム)指導監査資料」による監査</p> <p>(社会福祉施設指導監査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 処遇関係</li> <li>・ 会計/経理関係</li> <li>・ 運営/管理関係</li> </ul>

### 4 主要会議・行事

#### (1) 執行委員会（開催回数 7 回）

開催日時	2022年5月13日(金) 午後2時00分～	出席者	理事長 榎本雅亮
	7月7日(木) //		専務理事 松田 晃
	9月8日(木) //		理 事 中山千砂子
	11月4日(木) //		理 事 中川恵美子
	2023年1月5日(木) //		理 事 海野フミ子
	2月22日(水) //		理 事 内藤孝二 ほか幹部職員
	3月2日(木) //		

#### (2) 顧問・相談役報告会

開催日時	2022年6月30日(木) 午前11時30分～午後1時00分 於：椿亭	出席者	相談役 芹澤 博 相談役 寺尾 恵 亘	報告者	理事長 榎本雅亮 専務理事 松田 晃 理 事 中山千砂子
------	---	-----	------------------------	-----	------------------------------------

(3) 経営分析会議

開催日時	2022年11月14日(月) 午前2時00分から午後04時00分まで 於：厚生苑さくらの郷 3階 地域交流室	講師	杉山公認会計事務所 所長 杉山 明喜雄 「決算からの法人経営の特徴と課題」 石上社会保険労務士事務所 代表 石上 未紀 「社会福祉・介護事業における労働災害の発生状況」 「“カスタマーハラスメント(カスハラ)”への対応」	出席者	理事長 榎本雅亮 専務理事 松田 晃 理事 中山千砂子 理事 中川恵美子 理事 海野フミ子 理事 内藤孝二 監事 長 長 吉宏 監事 大石 哲生 ほか幹部職員
------	---	----	--	-----	---

(4) 次年度新卒採用者内定式及び入職前ガイダンス

開催日時	2023年3月7日(火) 午前9時30分から午後4時30分まで 於：厚生苑さくらの郷 2階 研修室	採用者	大学生 3人 専門学校 1人 計 4人	出席者	専務理事 松田 晃 理事 中山千砂子 総務部長代行 石川 貴生 人材育成室長 平澤 雅美
------	--	-----	---------------------------	-----	---

5 地域貢献事業

(1) 厚生苑在宅介護支援センターの運営

地区・町内の居場所づくり「い〜とこあざい」は、2018年3月に厚生苑JA さくらの郷を会場としてスタートしています。新型コロナウイルス感染症対策のため、2022年度は6月から再開しましたが、感染流行に依りての開催となりました。民生委員主体のしぞ〜かでん伝体操は再開には至りませんでした。地区社協の理事会・運営委員会、民児協の会議等は年間16回、さくらの郷を利用されています。

各関係機関との関係においては、圏域の安西・番町地域包括支援センターと連携を図り相談者の対応にあたりました。県地域包括・在宅介護支援センター協議会主催の職員研修及び総会も書面で閲覧・オンラインでの参加となりました。

前年度実施した民生委員主体でのコロナワクチン接種予約に対する支援ですが、4回目の接種予約については各個人でお願いすることとなりました。

① 地区別 年間相談件数

地区	安西	番町	圏域外	匿名	合計	他機関紹介
相談人数	1人	0人	13人	7人	20人	2人
対応件数	1件	0件	13件	0件	14件	2件

② 相談内容（相談内容により複数にカウント）

相談内容	総計	相談内容	総計
介護保険申請からサービス利用までの支援		退院に関する相談	2件
認知症の相談		障害に関する相談	
生活状況の確認		生活保護に関する相談	
その他	3件	地域の情報提供（S型デイ等）	
虐待・虐待疑い		介護予防・日常生活支援総合事業	
在宅福祉サービス	1件	成年後見・日常生活自立支援事業	
消費者被害		苦情	
施設の入所相談	19件	総計	25件

③ 地域福祉活動への協力と支援

ア) 地域交流サロン「い〜とこあんざい」

利用実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催数	0	0	3	1	0	0	3	4	4	4	4	5	28回
利用者	0	0	1	0	0	0	3	7	5	11	11	19	57名
スタッフ	20	0	15	5	0	0	19	21	21	21	25	31	178名
合計	20	0	16	5	0	0	22	28	26	32	36	50	235名

イ) しぞ〜かでん伝体操

2020年2月後半からの休止が継続され2022年度は開催していません。

ウ) S型デイサービス 安西ひまわりの会（末広町公民館）

2022年度は月2回の開催予定日の中で感染状況に応じ不定期で開催されましたが、会場への本会からの職員の派遣や活動支援は見合わせました。

・高齢者の外出支援事業（福祉車両の無料貸出・おでかけ安西号の運用）

高齢や障害等の理由により移動外出が困難な方の通院や買い物・墓参・冠婚葬祭等の外出支援のため、本会が所有する移動外出支援用車両（車椅子が乗る車両 軽自動車）の貸し出しを行う事業です。

※ 2022年度は貸し出しがありませんでした。

・地域の福祉人材の育成（ふれあいボランティア）

周辺地域住民のマンパワーの確保と福祉人材の育成の一つとして、有償ボランティア制度を導入、昼食の提供の他、活動回数に応じて静岡県くみあい商品券を提供しています。登録制で、見守りや話し相手・会食など高齢者の方々と一緒に過ごしていただく寄り添う活動が中心です。

※ 2022年度は新型コロナウイルス感染症対策として受け入れを中止しました。

・生活困窮者自立支援制度の就労訓練事業

2015年4月に施行された生活困窮者自立支援制度で、生活困窮者や引きこもりなどですぐに一般就労に従事することが難しい人をサポートして就労訓練の機会や体験を行う事業で2018年

9月に静岡市から就労訓練事業所の認定を受けました。自立相談支援機関の下で清流の郷の介護の補助業務の体験就労を提供することになりましたが、本年度の利用はありませんでした。

## 6 第三者委員会苦情解決・虐待報告会・優先入所判定会の開催状況

回数	実施日	開催方法	苦情（虐待）件数	
			清流の郷	新緑の郷
1	4月23日	書面	－	－
2	5月12日	WEB	－	－
3	6月10日	WEB	－	－
4	7月6日	合同	－	－
5	8月12日	書面	－	－
6	9月9日	書面	－	－
7	10月14日	合同	－	－
8	11月11日	合同	(特養2件)	－
9	12月9日	合同	(特養1件)	(特養1件)
10	1月13日	合同	－	－
11	2月10日	合同	－	(デイ1件)
12	3月10日	合同	－	－
計			(特養3件)	(特養1件) (デイ1件)

## 7 人材育成とキャリアパス支援の取組み

### (1) 新人研修

新卒採用職員の定着及び基礎力向上を目的に年間を通じて研修を実施しました。集合研修は新型コロナウイルス感染症対策のため最小限とし、外部の研修専門機関による「新人職員育成100日プログラム」を導入しました。成長に応じて指導者と新人職員の知識・技術・メンタルのテストやチェック、面談などを実施しています。

実施日	形式	項目	内容	出席者数
4月1日～8日	集合	基礎教育	基本知識研修・基本技術研修	4名
4月25日	グループ	100日研修	テスト	4名
5月5日	グループ	100日研修	チェック&ヒアリング	4名
5月25日	グループ	100日研修	用語確認テスト	4名
6月4日	グループ	100日研修	チェック&ヒアリング	4名
6月6日	集合	基礎研修	医療研修	4名
6月9日	集合	振り返り	支援技術研修	4名
6月16日	グループ	100日研修	面談調査	4名
7月4日	グループ	100日研修	チェック&ヒアリング	4名
7月14日	グループ	100日研修	80日目テスト	4名
7月28日	グループ	100日研修	面談調査	4名
8月7日	グループ	100日研修	最終レポート	4名
9月29日	グループ	振り返り	本採用 職員研修	4名

(2) 内部研修

法定研修を中心に WEB 研修として開催しました。集合研修を避け 個人での視聴研修の形をとりましたが、その中でも感染流行期には対応できない期間があり、12 月以降は受講できなかった職員のための調整期間とし受講を進めました。

実施月	主 催	内 容	施 設	受講者数
5 月	お茶の水学院	法定研修 事故防止の知識	清流の郷	65 人
			新緑の郷	39 人
6 月	お茶の水学院	法定研修 感染症、食中毒の予防及び拡大防止の知識	清流の郷	65 人
			新緑の郷	38 人
7 月	お茶の水学院	法定研修 身体拘束排除の知識	清流の郷	66 人
			新緑の郷	38 人
8 月		法定研修 褥瘡予防のためのポジショニング	清流の郷	65 人
			新緑の郷	38 人
9 月	お茶の水学院	法定研修 高齢者虐待防止に関する理解	清流の郷	65 人
			新緑の郷	38 人
10 月	お茶の水学院	法定研修 看取りケアに関する研修	清流の郷	64 人
			新緑の郷	38 人
11 月	お茶の水学院	希望研修 高齢者の病気の特徴	清流の郷	64 人
			新緑の郷	38 人
年間合計				721 人

(3) 外部研修

職員のスキル及び職員の希望に沿って、外部の研修及び講習会に参加しました。外部研修についても 2022 年度は感染症対策のため集合研修は開催されることはなく、WEB での受講となりました。

月	研修	主催	清流の郷	新緑の郷	本部 総務
5	新規学卒者のために求人説明会、高等学校との情報交換会	静岡・清水公共職業安定所	1		1
6	令和 4 年度 主任介護支援専門員更新研修	静岡県介護支援専門員協会	1		
	令和 4 年度 静岡県社会福祉法人経営者協議会中部支部総会	静岡県社会福祉法人経営者協議会			1
7	厚生苑介護福祉士実務者養成講座	社会福祉法人 静岡厚生会	2	2	2
	令和 4 年度 デイサービス事業継続支援事業	全国老人福祉施設協議会		1	
8	令和 4 年度 社会福祉法人 主任/係長講座	全国老人福祉施設協議会	2	1	1
	令和 4 年度 介護支援専門員法定研修専門研修過程 II	静岡県介護支援専門員協会	1	1	
	令和 4 年度 静岡県 J A 高齢者福祉事業研究会 管理者部会	静岡県厚生農業協同組合連合会			1
9	安全運転管理者講習会	静岡県公安委員会	1	1	
10	地域共生フォーラム	日本協同組合連携機構			1
11	令和 4 年度 静岡県 JA 介護保険事業研修集会	静岡県厚生農業協同組合連合会		2	
12	女性職員のためのキャリアデザインセミナー	静岡県経済産業部就業支援局			1
	外国人介護職員雇用セミナー	アジアヒューマンリレーション			2
	社会福祉法人経営者研修会～経営管理コース	中央福祉学院			1

1	2022年度 相談援助実習報告会・実習指導者意見交換会	静岡福祉大学	2		
	令和4年度看護師研修 施設看護師に求められる役割とは	静岡県社会福祉協議会	2	1	
	介護施設における高齢者虐待の予防と対策	静岡県社会福祉協議会	1	1	
	訪問介護適正実施研修	静岡県	1		
	令和4年度 静岡市認定調査員現任研修	静岡市	6	1	1
2	2022年度社会福祉士実習指導者講習会	静岡社会福祉士会	1		
	令和4年度 静岡県 JA 高齢者研究事業研修会	静岡県農業協同組合連合会			2
	令和4年度 介護人材確保総合セミナー	全国老人福祉施設協議会			1
3	令和4年度 栄養講習会	静岡市保健所			1
	デイサービス事業継続等相談支援「報告会」	全国老人施設協議会	1	1	
	介護福祉士実習指導者懇談会	静岡福祉大学	1		1
	自己点検・分析支援セミナー	全国社会福祉法人経営者協議会			1
年 間 合 計 (53人)			23人	12人	18人

#### (4) 受験結果

項目	介護福祉士	社会福祉士	介護支援専門員
受験者数	2人	1人	1人
合格者数	1人	1人	0人
合格率	50%	100%	0%

#### (5) 講習資格受講者・保有者

項目	社会福祉主事 通信教育課程	介護福祉士 実習指導者講習	社会福祉士 実習指導者講習	介護教員 講習	医療的ケア 教員講習	主任介護支援 専門員講習	防火管理者 講習
受験者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人
受講済者累計	16人	9人	9人	2人	4人	7人	10人

#### (6) 実習生受入人数及び実習延べ日数

項目	介護福祉士	社会福祉士	管理栄養士	体験実習	初任者研修	合計
実習者数	6人	5人	2人	0人	0人	13人
受入延日数	105日	96日	10日	0日	0日	211日

(2022年度は、静岡女子高、静岡福祉大学の介護福祉実習、社会福祉士相談実習と静岡県立大学短期大学部の栄養実習を受け入れております。人材センターの体験実習受け入れ予定でしたが新型コロナウイルス感染症拡大により中止となりました。)

## 8 各種施設・事業所の計画と実績

『事業計画・事業報告（別表）』に記載



2022 年度

厚生苑 清流の郷

事業報告

## 清流の郷 計画と目標の総括（施設長 大檐 豊）

施設入所〔特別養護老人ホーム〕 【目標：実績】年間利用者 42,900名：41,549名／稼働率 97.95%：95.79%

通所介護〔デイサービスセンター〕 【目標：実績】年間利用者 8,150名：7,345名／稼働率 76.36%：67.91%

居宅介護支援・訪問介護

〔ケアマネジメントサービス〕 【目標】年間利用者 2,880名〈予防 1,104件・要介護 1,776件〉

【実績】年間利用者 2,916名〈予防 1,029件・要介護 1,887件〉

〔ホームヘルプサービス〕 【目標】年間利用者 6,420名〈予防 1,744件・要介護 4,676件〉

【実績】年間利用者 6,061名〈予防 1,546件・要介護 4,515件〉

- (1) 新型コロナウイルスを事業所内に持ち込まないように、職員1人1人の予防意識と危機意識を高める。

感染症の研修、毎日の健康観察と出勤時の検温、ワクチン接種、定期抗原検査を実施しました。在宅サービスでは訪問時の体調確認チェックシートを活用しました。体調不良があれば出勤を見合わせる対応を取り、第8波では複数の職員が自宅療養となりましたが、施設内の持ち込みをほぼ防ぐことができました。

- (2) 新型コロナウイルスが持ち込まれた場合の発症シミュレーションを行い、ゾーニングや具体的なケア方法について検討し、備える。

運営会議で新型コロナウイルスが持ち込まれた場合を想定した話し合いを行い、初動のチェックリストの確認や防護服対応訓練を行いました。8月、12月、2月と職員や入所者が陽性になったフロアが出ましたが、看護職員を中心としてゾーニングを実施し、ケア方法の改善を重ねて感染拡大を防ぐことができました。

- (3) 感染症に配慮したレクリエーションを実施し、コロナ禍においてもQOLを高め、家族や地域とのつながりを保つ。

感染対策をした上でレクリエーションや季節行事を行いました。面会制限が続いたため、写真入りの暑中見舞いや年賀状を郵送し、普段の様子を知っていただきました。デイサービスでは慰問に訪れた園児や高校生に手作りのプレゼントを送り、フェイスブックで発信しました。また、柳町の防災訓練にも参加しました。

- (4) 業務の省力化や介護負担の軽減につながる介護機器の研究を行う。

移乗の負担が軽くなるスライディングボードや多機能型車イスの購入を進めました。CareTEX東京に参加し、ナースコール・見守りカメラ・センサーを一体的に管理する見守りシステムについて研究を行いました。見守りシステムについては次年度以降の導入を目指し、継続して研究を進めていくことになりました。

- (5) 既存の介護機器について実態調査を行い、利用者の中重度化に対応した機器等の入れ替え及び更新優先順位の計画について検討する。

施設内のベッド、車イス、マットレス、センサーの実態調査を行い、必要な機器は修繕を進め、耐用年数や費用を勘案しながら今後の入れ替え計画について検討しました。利用者の中重度化が進んでおりますが、入所者が使いやすく職員の負担軽減につながる多機能型の車イスの定期的な購入を進めました。

(6) 特養に求められるトレンドを研究し、現在のサービスの自己評価と今後のサービス内容の検討を行う。

「特別養護老人ホームの役割とイメージ～家族・利用者の視点を通じて～」と題した研修会を実施しました。当日参加できなかった職員は録画を視聴し、日頃の業務について振り返りを行いました。次年度は、この研修内容をもとにサービスの自己評価を実施し、今後のサービスの検討を行う予定となりました。

主たる活動報告一覧表（清流の郷）

月	実施事項	実施日
4月	新人職員研修	1日(金)～
	運営会議(廃棄文書、経営会議報告、賃金改善、新型コロナ関連 他)	15日(金)
5月	運営会議(経営会議報告、研修、新型コロナ関連 他)	16日(月)
	監事監査(決算監査)	19日(木)
	静岡女子高実習受入	9～13日
6月	運営会議(経営会議報告、向精神薬の弊害、新型コロナ関連 他)	15日(水)
	静岡ホーム園児来苑	16日(木)
	英和女学院学生訪問	18日(土)
7月	静岡女子高実習受入	4～15日
	運営会議(経営会議報告、夏祭り、福祉大実習生、新型コロナ関連 他)	15日(金)
8月	職員健康診断	8月～9月
	夏祭り(各フロア)	2～18日
	静岡福祉大学社会福祉士養成課程実習受入	15日～9月16日
	運営会議(経営会議報告、実習生の対応、新型コロナ関連 他)	16日(火)
9月	敬老週間(各フロア)	12～20日
10月	入所者健康診断	13・20・27日
	運営会議(経営会議報告、台風15号の影響、新規入所の受け入れ、新型コロナ関連 他)	14日(金)
	静岡女子高実習受入	17～25日
	入所者インフルエンザワクチン接種	19日(水)
11月	入所者インフルエンザワクチン接種	2日(水)
	監事監査(定期監査)	8日(火)
	消防設備点検・防災訓練	9日(水)
	運営会議(経営会議報告、対応マニュアルの見直し、新型コロナ関連 他)	18日(金)
12月	柳町防災訓練	4日(日)
	静岡女子高実習生受入	6～15日
	クリスマス会(各フロア)	13～23日
	静岡市指導監査・運営指導	20日(火)
	運営会議(経営会議報告、定期抗原検査、職員のワクチン接種、新型コロナ関連 他)	16日(金)
1月	新年訓示	4日(水)
	運営会議(経営会議報告、新型コロナ関連 他)	13日(金)
	入所者コロナワクチン接種	25日(水)
2月	入所者コロナワクチン接種	15日(水)
	運営会議(経営会議報告、車椅子の清掃修理依頼、新型コロナ関連 他)	17日(金)
3月	職員腰痛検査	10・15日
	静岡女子高実習受入	14～17日
	運営会議(経営会議報告、看取り介護振り返り、新型コロナ関連 他)	17日(金)
	静岡福祉大学 谷 功先生 研修会	28日(火)

# 1. 特別養護老人ホーム 厚生苑 清流の郷

## ア. 運営概要

今年度も新型コロナウイルスの感染力が収まらず、8月、12月、2月と入所者が陽性となり、フロア内で隔離対応を行いました。幸いに3度とも他のフロアへの広がりがなく、感染した職員・入所者とも軽症で終息することができましたが、家庭で職員や職員の家族が感染して自宅待機となるケースも多くあり、常に緊張感と危機感、人員の調整に追われた1年でした。

対面の面会は7月1日から7月10日のわずか10日間しか行えず、オンライン面会を継続しました。少しでもご家族に安心してもらうために、ケアプランや体調の連絡、写真を多く掲載した苑内報や顔写真入りの暑中見舞い・年賀状を送り、施設内の様子を知っていただく取り組みを継続しました。生活が単調にならないように、感染症対策を行いながらレクリエーション活動を実施し、職員と入所者が一緒に楽しむ時間を作りました。

2022年度の退所者は53名で、昨年度よりも多くの方を施設で看取りました。看取り期には感染対策のもとでご家族との面会を実施しました。

介護職員がお一人お一人の看取り介護の振り返りを行い、毎日の声掛け、身体を清潔に保つこと、好きなものを食べること、家族との時間を作ることの大切さを共有し、今後の業務に活かせるように取り組んでいます。

## イ. 利用状況

### ■ 市町村別／性別人員

2023年3月31日現在

市町村	静岡市	市 外	県 外	合 計
男	27	-	-	27
女	89	-	-	89
合 計	116	-	-	116

### ■ 性別／年齢構成人員

市町村	静岡市		市 外		県 外		合 計
	男	女	男	女	男	女	
年 齢 構 成	～59	-	-	-	-	-	-
	60～64	-	1	-	-	-	1
	65～69	1	2	-	-	-	3
	70～74	3	4	-	-	-	7
	75～79	5	6	-	-	-	11
	80～84	12	17	-	-	-	29
	85～89	2	24	-	-	-	26
	90～94	3	20	-	-	-	23
	95～99	1	8	-	-	-	9
	100～	0	7	-	-	-	7
平均年齢		男 81.56 歳	女 87.07 歳	全 体 85.78 歳			

## ■ 介護度別／性別人員

介護度	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合 計
男	－	－	10	14	3	27
女	－	－	22	43	24	89
合 計	－	－	32	57	27	116
割 合	0.0%	0.0%	27.6%	49.1%	23.3	平均介護度 3.96

## ウ. 年間利用者サービス実施状況

	行 事	地域ボランティア協力・支援
4 月	桜レクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
5 月	端午の節句、母の日レクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
6 月	父の日レクなど（各フロア随時） 16 日 静岡ホーム保育園 花の日訪問 18 日 英和女学院 花の日訪問	感染症予防対策のため中止 02 静岡ホーム保育園の代表者・園児代表 英和女学院の学生代表
7 月	七夕レクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
8 月	3・24 日 新型コロナワクチン接種 2～18 日 夏祭り（各フロア）	感染症予防対策のため中止
9 月	12～20 日 敬老週間（各フロア）	感染症予防対策のため中止
10 月	運動会レクなど（各フロア随時） 19 日 インフルエンザワクチン接種 13・20・27 日 入所者健康診断	感染症予防対策のため中止
11 月	2 日 インフルエンザワクチン接種 5 日 英和女学院 秋の収穫祭訪問 9 日 総合防災訓練	英和女学院学生の代表者 感染症予防対策のため中止
12 月	4 日 柳町地区防災訓練 クリスマスレクなど（各フロア随時）	英和女学院学生の代表者
1 月	お正月レクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
2 月	節分レクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
3 月	ひな祭りレクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止

\* その他、各フロアでおやつバイキング等に参加

月例	内 容	実施日	月例	内 容	実施日	
余 暇	電電萩の会歌の会	中 止	看 護	総回診	月 4～5 回	
	民謡クラブ	中 止		皮膚科往診	月 2 回	
	書道教室	中 止		歯科指導	月 1 回	
	外 出	中 止		入所者健康診断	年 1 回	
	レクリエーション（季節行事）	随 時		インフルエンザワクチン接種	年 1 回	
	リハビリ体操（各フロア）	毎 日		新型コロナワクチン接種	年 2 回	
	おやつバイキング（各フロア）	毎 日		血圧測定	週 2 回	
	誕生会（各フロア）	月 1 回		嗜好調査	半年毎	
介 護	入 浴	週 2 回	栄 養 防 災	体重測定	月 1 回	
	シーツ交換	週 1 回		季節行事食	随 時	
	ケアカンファレンス	月 10 回程度		防 災	防災訓練（月 1 回）	総合防災訓練 年 1 回
	理 髪	月 1 回				
	美 容	月 1 回				

## 2. デイサービスセンター清流の郷

### ア. 運営概要

今年度も新型コロナウイルス感染症対策として、送迎前の検温、手指消毒、利用者・家族の体調確認、県外への移動や県外からの来静確認、マスクの着用確認を行い、送迎車内やダイルールの消毒・換気を行いました。

ダイルール内では座席を横並びの二人掛け配置とし、パーティションとCO<sub>2</sub>濃度測定器を設置、入浴では脱衣室での密を避けるため浴室の稼働箇所を減らして対応しました。それら感染対策を継続することで事業所内での感染拡大を防ぐことができました。しかしながら、職員の罹患や濃厚接触による自宅待機により8月には5日間のデイサービス営業休止があり、その後もご利用者様の体調不良が続き、稼働率はかなりの打撃を受けました。

活動内容では、個別機能訓練・小集団体操の拡充、作業療法を兼ねた折り紙やちぎり絵、認知予防のための間違い探しや計算問題といった脳トレに力を入れました。

コロナ禍でも地域とのつながりを維持するために、慰問に来てくれた静岡ホームの園児や静岡英和女学院の生徒に手作りのプレゼントで感謝を伝え、柳町の防災訓練に参加して災害時の連携を確認しました。また、フェイスブックで活動の様子を発信し、オンラインを活用した法人内や関係機関との会議を開催し、情報の共有や新規利用者様の獲得に向けての情報交換を行い、居宅介護支援事業所への営業活動を行いました。

実施月	行事内容	レクリエーション活動等
4月	桜の名所 DVD鑑賞	～毎月～
5月	母の日 カーネーション作り	カレンダー作り
6月	父の日 カード作り	体重測定
7月	七夕飾り	体力測定
8月	夏祭り 敬老の日準備	防災訓練
9月	敬老の日 運動会準備	書道
10月	運動会	季節の壁飾り制作
11月	壁面作り クリスマス準備	～毎日～
12月	クリスマス会 干支作り	脳トレ パズル 漢字 計算 むり絵など)
1月	正月遊び	生活機能向上運動(個別)
2月	節分 お雛様作り	小集団機能向上訓練
3月	雛祭り 春の壁飾り	嚙下体操 作業療法

## 3. 厚生苑ケアマネジメントサービス

### ア. 運営概要

今年度も新型コロナ対策として、訪問時には利用者・家族の体調を確認するとともに訪問時間の短縮に努めました。特に、担当者会議は感染拡大期には開催の見合わせ(書面開催)、感染小康期には最少人数での対面開催等、感染状況を見極めて実施しました。

事業所内でも職員が濃厚接触者として自宅待機となることが度々ありました。担当者が直接的に支援できない場合にあっても、事業所内で成り代わり支援ができるよう情報共有を努めました。また、周辺の他事業所からの感染情報を速やかに得て、法人内外へオンラインで情報発

信を行いました。

ケアマネジメントの傾向としては、数年にわたるコロナ禍の影響により A D L 低下や病状の進行等が著明となった利用者が増え、入院や入所により終了となる事例が多い 1 年でした。

そのような中ではありましたが、台風発生時の教訓に全利用者に対し「安心カード」(緊急連絡先や関係者、避難場所のリストアップ)の整備が完了し、次年度の BCP 作成への足がかりとすることができたことは大きな成果だと思えます。

## 4. 厚生苑ホームヘルプサービス

### ア. 運営概要

引き続き新型コロナウイルス感染予防対策として、まず利用者の健康観察を十分に行ってからサービスの提供に入ること、そして職員自身の健康管理に一段と気を配ることを徹底しました。実施に当たっては、周囲の状況を見ながら必要に応じて利用者や家族に理解と協力が得られるよう努めました。

利用者の傾向として、一人暮らしや高齢者世帯、近くに頼れる人がいない方が増加しています。今年度は一人暮らしの利用者が自宅で急に最期を迎えるケースが数件ありました。緊急時の対応をはじめ、一連の流れを今後の訪問に繋げられるよう、必要事項を確認しながら、職員間で情報共有を定期的に行いました。

訪問先では利用者と職員が 1 対 1 で接する状況を踏まえ、ミーティングを通じてサービス提供責任者が職員に対してこまめに声掛けし、利用者の状況把握とともに職員自身の心身状態の変化に気づける環境作りに取り組みました。その結果、よりよいチームワークの形成ができました。サービス提供責任者も訪問を行い、実際の様子を知ることで「適切なサービスと在宅生活の継続」の視点を常を持って活動することができました。コロナ禍により研修が資料配布になってしまったことが多かったので、次年度はミーティングの場を活用して訪問に対する意識が高まるよう検討していきます。

### イ. 利用状況

#### 利用世帯状況と構成

2023 年 3 月 31 日現在

世帯状況	世帯数	世帯構成	世帯数
一般世帯 (利用料負担率 10・20・30%)	52 世帯	ひとり暮らし	44 世帯
社会福祉法人減免世帯 (7.5%)	1 世帯	高齢者世帯	9 世帯
生活保護世帯 (0%)	8 世帯	その他	8 世帯
合計	61 世帯	合計	61 世帯

最低年齢 68 歳 最高年齢 102 歳

## 5. 各種委員会・会議活動

### ア. 生活向上委員会

#### ① 高齢者虐待防止・身体拘束廃止委員会

指針・規定に基づき、切迫性・非代替性・一時性を確認の上、1 名の身体拘束の実施を行い記録に残しました。虐待予防・発見チェックシートを実施し、虐待につながる不適切ケアについて考えました。身体拘束排除の知識や、認知症で介護拒否がある方への接し方についての研修を実施し、身体拘束排除や虐待防止に関する理解について学びました。

#### ② 安全管理・感染症対策委員会

安全管理では、毎月、事故・ヒヤリッハット報告書の集計分析を行い、職員へ予防策の徹底を図りました。感染症については、新型コロナウイルス、食中毒、ノロウイルスに対する研修を実施し、予防策や発症した際の対応方法について学びました。

### ③食事・口腔ケア委員会

食事については、厨房の委託業者と共に、随時、電話やビジネスチャットを活用して、食事提供の課題と改善策について話し合いました。口腔ケアについては、歯科医師と連携して、施設内や Web 動画を活用しながら歯科指導と口腔機能維持にかかる助言や指導を受け、委員会内で共有を行いました。

### ④入浴・褥瘡予防対策委員会

利用者の皮膚状態や、軟膏と処置の仕方について情報交換を行いました。褥瘡発生を未然に防ぐため、体位交換枕やエアーマット、マットレスの適正な使用方法を確認しました。委員会が主体となり、ポジショニングによる褥瘡・拘縮予防研修を実施しました。

### ⑤広報・アクティビティ委員会

七夕、クリスマス、節分などの季節行事や食事・音楽のレクリエーションをフロア毎に行い、利用者の皆さんに楽しんでいただきました。8月には、フロアごとに夏祭りを開催し、輪投げや魚釣りのゲームを楽しみました。季節に合わせた掲示物の作成を行い、楽しんでいただきました。個人ごとの写真入りの暑中見舞いと年賀状を作成し、家族に送り喜んでいただきました。

### ⑥排泄委員会

オムツの発注・納品や清拭タオルの必要枚数の検討など、日常業務に直結した排泄介護に関する話し合いを行いました。看護師よりオムツかぶれによる皮膚トラブルを予防するための助言を得て、各フロアで共有を行いました。

## イ. 会議活動

### ① 清流施設幹部会

拠点の幹部役職員による各事業所の運営状況の把握や運営方法などの検討を行いました。

### ② 施設運営会議

毎月1回、施設長・副施設長・課長・栄養士・看護師・フロアリーダー・生活相談員などによる会議をオンラインで開催し、事業実施状況の報告、法人動向の報告、清流の郷運営に関する検討と情報の共有を行いました。

### ③ フロア会議

例年、フロア毎に開催し、運営会議・生活向上委員会の報告、利用者の心身の変化に応じた統一した介護ができるよう課題やケア内容について情報の共有を行っていましたが、今年度は感染症予防の観点より開催を控え、日常業務の中での情報共有に努めました。

### ④ ケアカンファレンス（担当者会議）

介護支援専門員が中心となり、利用者・家族の要望に沿った個別介護サービス計画について多職種での検討を、感染症予防の観点から書面で行いました。

### ⑤ 施設介護職員会議

例年、外部研修報告、内部研修などを計画していましたが、感染症予防の観点から実施を控えました。集合会議に変えて、動画を活用した研修を個人ごとに行いました。

### ⑥ 通所介護サービス会議



毎月1回、経営会議報告、研修報告、通所介護事業運営に関する検討や決定、利用者情報の共有などを行いました。

⑦ 衛生管理委員会

毎月1回、衛生管理者による施設内の衛生状況について、運営会議の参加者に報告と課題の説明があり、改善点について検討しました。オンラインで開催しました。

⑧ 防火・防災管理委員会

施設長、防火管理者が中心となり、防災訓練の企画と実施のための会議を主に運営会議内で行いました。11月には地震発生・停電・通電火災を想定した訓練を行い、実際に全館停電を実施し非常発電装置を作動させました。

⑨ 優先入所判定・虐待防止・苦情解決第三者委員会

新緑の郷と合同で開催しました。第三者委員2名、両施設の施設長、法人本部職員が参加し、多角的な意見から入所候補者を決定しました。また、虐待が疑われる案件や苦情を報告し、第三者委員から客観的な意見を得た上で再発防止策について話し合いました。

⑩ ミールラウンド

協力歯科医師のほか関係職種職員が、昼食時の利用者の食事摂取状況の確認と改善点の検討を、毎月2回行いました。感染症対策のためWeb動画を活用して実施しました。

## 6. ボランティア活動

### ア. 活動状況

月	件数 (件)	延人数 (人)	ボランティア内訳						1日 平均 (人)
			グループ		個人		中学・高校生		
			団体数 (団体)	延人数 (人)	件数 (件)	延人数 (人)	団体数 (団体)	延人数 (人)	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	2	28	-	-	-	-	2	28	0.9
7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	1	6	-	-	-	-	-	-	0.2
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	3	34	-	-	-	-	3	34	0.1

### イ. 活動団体

・静岡ホーム保育園／静岡英和女学院

2022 年度

厚生苑 新緑の郷

事業報告

## 新緑の郷 計画と目標の総括（施設長 武田 剛）

施設入所〔特別養護老人ホーム〕 【目標：実績】年間利用者 14,600名：14,012名／稼働率 98.08%：95.97%

通所介護〔デイサービスセンター〕 【目標：実績】年間利用者 7,940名：7,421名／稼働率 73.05%：68.82%

- (1) 均等のとれた介護サービスを安定的に提供できるよう従来の施設日課表と日常業務マニュアルの改善を行うと共に、定期的に点検や見直しを行う。

日課表、業務マニュアルどおりの実践ができているか確認を行いました。夜勤明け者の業務を重点的に、介護課長・フロアリーダーを中心としてチェック表を作成し点検を行いました。その結果、夜勤明け業務がスムーズになり日勤帯職員への引継ぎが滞りなくできるようになりました。

- (2) 施設内での感染事例について調査研究し、発生条件や環境及び場面性により異なる個々の対処についてあらかじめ確認し合い、迅速な初動体制を整える。

運営会議にて新型コロナウイルスが持ち込まれた際の初動体制について施設看護課を中心に検証し初動体制のマニュアル作成・周知、実際の訓練（防護服着脱、ゾーニング等）を行いました。5月、8月、12月の陽性者発症後には振り返りを行い、新緑の郷初動体制マニュアルのバージョンアップを行うことができました。

- (3) 前年度導入した見守りカメラシステム実践的效果について考察し、より有効的な使用方法について研究を行う。

職員からの聞き取りの結果、夜勤帯での多数回の訪室巡視が軽減され、適正な巡視業務へと改善できました。機器設定についても中堅職員が行えるようになり臨機応変に対応できるようになりました。事故発生時の状況についても録画された実際の映像を視聴し分析することでその後の事故対策にも繋がりました。

- (4) 利用者や第三者の視点に立ち、「プライバシー」や「居心地の良さ」等、より生活環境に重点をおいた運用の改善を試みる。

自主点検チェックリストの作成を行い3月末からの運用開始となりました。2週に1回、入所者担当職員が居室内の環境点検チェックを行い、月1回介護課長が評価を行いました。また年2回の衣替え時には入所者居室内の整備を行うことができました。

- (5) 必要な対策を充分講じた上で、季節の行事やイベントを再開し、コロナ禍における心理的な安定と閉塞感の解消を図る。

職員が行事を企画する段階から感染対策を意識できるよう、流行レベルに即した対応策を決定し企画書式を改めました。第7波収束後にはユニット毎、計画的に活動を実施できました。前年度に比べレクリエーションが増え、個別で行っていた切り絵、クラフト作成等も小集団で行うことができました。

- (6) 様々な手段を通じて施設の情報を発信し、新緑の郷への理解や関心を高めて、サービスの利用や施設の入居に繋げていく。

今年度より施設敷地内の掲示板を活用し、地域住民に対する情報発信を行ないました。掲示板前で興味深く見てくださる住民も増え、施設での生活やデイサービスの活動の様子など発信ができました。デイサービスと特養が輪番で掲示物を作成しましたが、利用者・入所者の楽しみの一環ともなりました。

### 主たる活動報告一覧表（新緑の郷）

月	実施事項	実施日
4月	新人職員研修	1日(木)～
	運営会議(新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について、事業計画 他)	19日(月)
5月	母の日レク(ケーキ作成)	11日(火)
	運営会議(新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について、監事監査 他)	17日(月)
	監事監査(決算監査)	20日(木)
6月	入所者及び職員 新型コロナワクチン接種(第1回)	2～8日
	入所者及び職員 新型コロナワクチン接種(第2回)	23日～7月9日
	運営会議(新型コロナ関連、内部Web研修について、職員人事について 他)	29日(火)
7月	七夕レク	6月末～7月10日
	運営会議(事業計画、敬老会、新型コロナ関連 他)	20日(火)
8月	スイカ割りレク	11日(水)
	運営会議(新型コロナ関連、身体拘束防止・高齢者虐待防止研修実施と虐待再発防止(抵触事案)について 他)	23日(月)
	職員健康診断	8月～11月
9月	職員Web研修(①虐待防止に関する理解・②身体拘束排除の知識:全職員対象)	① 8月23日～9月5日 ② 9月6日～9月17日
	運営会議(見守りカメラトライアル、スキルマトリックス、看取り介護の指針・高齢者虐待防止に関する指針 他)	24日(金)
	敬老会(各フロアで開催)	26日(日)
10月	入所者健康診断	15日(金)
	職員Web研修(③感染症、食中毒の予防及び拡大防止の知識)	18～31日
	静岡市指導監査(書面監査)	20日(水)
	運営会議(新型コロナ関連、職員人事、防災訓練について 他)	22日(金)
11月	監事監査(定期監査)	9日(火)
	入所者インフルエンザワクチン接種	2日・16日
	運営会議(新型コロナ関連、職員ストレスチェック 他)	13日(土)
	経営分析会議	16日(火)
	総合防災訓練(新型コロナウイルス感染症まん延防止のため机上訓練)	22・24・25日
12月	運営会議(新型コロナ関連、市指導監査結果報告、見守りカメラ導入 他)	22日(水)
	クリスマスレク(ケーキ作り)	24日(金)
1月	新年訓示	4日(火)
	運営会議(新型コロナ関連、新型コロナワクチン3回目接種について、見守りカメラ導入について 他)	24日(月)
2月	入所者及び職員 新型コロナワクチン接種(第3回)	10・15・16日
	運営会議(書面・新型コロナ関連、事業計画進捗状況について 他)	28日(月)
3月	職員腰痛検査	18日・22日

# 1. 特別養護老人ホーム 厚生苑 新緑の郷

## ア. 運営概要

新型コロナウイルス感染症への対応も3年目となりました。8月中旬には短期入所者の陽性からの施設内クラスターが発生し、最終的には入所者・職員合わせて17人が陽性となりました。新緑の郷では初のクラスターに職員も苦悩しながら対応に当たりましたが、皆様のご支援をいただき、9月冒頭には収束することができました。その後も新型コロナウイルスと隣り合わせの危機感と緊張の中、職員一人一人が感染防止を強く意識し対策に取り組みました。

その反面、本年は「コロナ禍での生活」を意識し、感染対策と施設内活動（レクリエーション）の両立を目指し活動を再開しました。面会もままならない状況でしたので「新緑の郷たより」へ入居者の写真を多く掲載し、また適宜近況報告を行うなどご家族との繋がりを大切にしました。

また今年度は新卒職員4名が新緑の郷の配属となりました。外部委託の新人職員育成100日プログラムを活用し施設全体で育成に取り組み、順調に2年目を迎えることができました。

2022年度は15名（前年：16名）を施設で看取りました。看取り期には感染対策のもとご家族との面会を行いました。介護職員、看護職員等、施設職員皆で最期まで丁寧な介護に努めお見送りさせていただくことができました。

## イ. 利用状況

### ■ 市町村別／性別人員

2023年3月31日現在

市町村	静岡市	市 外	県 外	合 計
男	8	—	—	8
女	32	—	—	32
合 計	40	—	—	40

### ■ 性別／年齢構成人員

市町村	静岡市		市 外		県 外		合 計
	男	女	男	女	男	女	
年 齢 構 成	～59	—	—	—	—	—	—
	60～64	—	—	—	—	—	—
	65～69	—	—	—	—	—	—
	70～74	—	—	—	—	—	—
	75～79	—	—	—	—	—	—
	80～84	1	—	—	—	—	1
	85～89	—	10	—	—	—	10
	90～94	2	15	—	—	—	17
	95～99	1	9	—	—	—	10
100～	—	1	—	—	—	1	
平均年齢		男 90.25 歳		女 91.88 歳		全 体 91.71 歳	

■ 介護度別／性別人員

介護度	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合 計
男	－	－	2	2	－	4
女	－	－	8	20	7	35
合 計	－	－	10	22	7	39
割 合	0.0%	0.0%	25.6%	56.4%	17.9%	平均介護度 3.92

ウ. 年間利用者サービス実施状況

	行 事	地域ボランティア協力・支援
4 月	桜レクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
5 月	端午の節句、母の日御祝（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
6 月	父の日御祝（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
7 月	七夕レクなど（各フロア随時）	感染症予防対策のため中止
8 月	14、20 日 スイカ割り 10 日 新型コロナワクチン接種④	感染症予防対策のため中止
9 月	20、21 日 敬老会（各フロア開催）	感染症予防対策のため中止
10 月	7 日 入居者健康診断	感染症予防対策のため中止
11 月	1・15 日 入居者インフルエンザ予防接種 お菓子レク（各フロア開催）	感染症予防対策のため中止
12 月	26 日 クリスマスレク	感染症予防対策のため中止
1 月	お正月レク（月間レク） 12 日 新型コロナワクチン接種⑤	感染症予防対策のため中止
2 月	節分レク（月間レク）	感染症予防対策のため中止
3 月	ひな祭り（月間レク）	感染症予防対策のため中止

月例	内 容	実施日	月例	内 容	実施日
余 暇	踊り鑑賞と歌う会	中 止	看 護	総回診	月 4～5 回
	書道教室	中 止		皮膚科回診	月 1 回
	フラワーアレンジメント	中 止		血圧測定	週 2 回＋随時
	外 出	中 止		検 尿	随 時
	レクリエーション	随 時		健康診断	年 1 回
	リハビリ体操(フロア毎)	毎 日		インフルエンザワクチン接種	年 1 回
介 護	入 浴	週 2 回	栄 養	新型コロナワクチン接種	年 3 回
	シーツ交換	週 1 回		特別メニュー	月 1 回
	ケアカンファレンス	月 10 回程度		嗜好調査	年 1～2 回
	理 髪	月 2 回		体重測定	月 1 回
	美 容	－		防 災	防災訓練（月 1 回）

## 2. デイサービスセンター新緑の郷

### ア. 運営概要

今年度も1年を通じて新型コロナウイルスへの感染対策を継続する中での営業となりました。職員、利用者（共に同居家族含む）の感染が定期的に見られており、サービスの運営に影響することもありました。8月には職員の濃厚接触による自宅待機、感染、その他体調不調が重なり、臨時休業日を設けることもありましたが、幸いにも事業所内で感染する方を出さずに営業をすることができました。

今年度は新規獲得利用者と終了利用者の数が同数となりました。新型コロナウイルス第7波、第8波の頃には居宅介護事業所への営業活動を自粛せざるを得ず、新規利用者の減少、欠席率の上昇があり、利用率も落ち込みました。年明けには感染状況が落ち着いてきたこともあり、外部の居宅支援事業所への営業活動を習慣化できるようになっています。営業活動を継続することで、年度末には新規利用者の紹介者数が再び増えてきました。今年度は新規利用者の1人あたりの利用回数が少ない傾向が続いているため、登録利用者数を増やしていく取り組みを継続しています。結果、前年度下半期の数値に届くことはありませんでしたが、年間を通して計画比93.94%、前年比101.39%とすることができました。

実施月	行事内容	レクリエーション活動等
4月	お花見	～毎月～
5月	運動レク	カレンダー作り
6月	運動会	体重測定
7月	七夕飾り、祭準備	体力測定
8月	夏祭り	防災訓練
9月	敬老会	書道
10月	運動レク	季節の小物作り
11月	貼り絵	～毎日～
12月	ゲーム	脳トレ パズル 計算 ぬり絵 屋外歩行
1月	新年会	生活機能向上運動（個別）
2月	節分祭	小集団機能向上訓練
3月	ひな祭り	嚙下体操 作業療法

## 3. 各種委員会・会議活動

### ア. 生活向上委員会

#### ①高齢者虐待防止・身体拘束廃止委員会

コロナ禍にあり委員会主催の職員を対象にした合同研修は実践ができず、それぞれ動画研修を実施し、介護の振り返りを実施しています。身体拘束廃止については、毎月身体拘束に該当する入所者の確認を継続しています。

#### ②安全管理・感染症対策委員会

安全管理では、ヒヤリハット、事故報告書の集計分析を行い、重大事故に繋がらない対応方

法を検討しました。また、動画研修を実施し事故予防への意識強化を図りました。

感染対策では新型コロナウイルス感染症対策の初動体制の構築のための取り組みを行い、施設へ感染持ち込み防止、変異株への対応等、委員長と看護課長が中心となり取り組みました。

### ③科学的介護情報システム「LIFE」対応委員会

2022年度の報酬改定により導入されたLIFEの情報の収集・活用を推進するため、新たに委員会を立ち上げ取り組みました。褥瘡の発生防止、口腔衛生の管理、ADL値の推移等、入所者のデータ収集と情報提出を行いました。

口腔衛生の管理では、協力歯科医師から入所者の特性に合わせた口腔ケアの助言をいただき、日々の介護に取り入れました。

### ④食事・アクティビティ委員会

入所者の身体状況に合わせた栄養管理・食事の提供、レクリエーションや年間行事を通じた生活上の楽しみための活動を包括して提供するため、今年度より合同での開催としました。コロナ対策によりほとんど実践ができませんでしたが、Webを使用したミールラウンドの取り組み等を開始しました。

### ⑤入浴・施設美化委員会

利用者への適切な入浴機会の提供のための活動、衛生管理等に基づく施設の美化活動への取り組みを行いました。

## イ.会議活動

### ①幹部会議

幹部役職員による各事業所の運営状況の把握や運営方法などの検討を行いました。

### ②施設運営会議

毎月1回、施設長・介護課長・看護課長・フロアリーダー・デイ管理者による会議を開催しました。事業実施状況の報告、法人動向の報告、新緑の郷運営に関する検討と情報の共有を行いました。

### ③フロア会議

今年度は新型コロナウイルス感染症対策もあり集合形式での会議は行うことができませんでした。書面による運営会議・生活向上委員会の報告、利用者の心身の変化に応じた統一した介護ができるよう課題やケア内容についての検討と情報共有を行いました。

### ④ケアカンファレンス（担当者会議）

介護支援専門員が中心となり、利用者・家族の要望に沿った個別介護サービス計画について多職種で検討を行いました。コロナの感染状況によりWeb会議、情報照会による代替としました。

### ⑤施設全体会議

通年、介護、看護、相談等施設内の多職種による情報共有および研修の場としておりますが、集合形式の会議は行うことができませんでした。研修については全体会議に代え、映像・書面で「虐待に関する理解」「身体拘束排除の知識」「感染症、食中毒の予防及び拡大防止の知識」等の研修を行いました。



#### ⑥通所介護サービス会議

毎月1回、行事、レクリエーションの企画・準備、内部研修、通所介護事業運営に関する検討を行いました。利用者のモニタリングと情報の共有化に努めました。

#### ⑦防火・防災管理委員会

防災に関することについて会議を開催しました。今年度は夜間を想定した防災訓練を机上訓練として実施しました。実体験としては消防署への発報方法、消火栓・水消火器を使用した初期消火、発電機の操作方法を学びました。

#### ⑧優先入所判定委員会・苦情解決第三者委員会

清流の郷と合同で開催しました。今年度より構成メンバーを変更し、第三者委員2名、両施設の施設長、本部副本部長が参加しました。多角的に意見を交わし、入所申込者のうち優先入所判定基準により、上位入所候補者を決定しました。

また、第三者委員に対して苦情及び高齢者虐待の事案報告を実施しています。

## 4. ボランティア活動

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、ボランティアの受入れは中止としました。

### ア. 活動状況

月	件数 (件)	延人数 (人)	ボランティア内訳						1日 平均 (人)
			グループ		個人		中学・高校生		
			団体数 (団体)	延人数 (人)	件数 (件)	延人数 (人)	団体数 (団体)	延人数 (人)	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### イ. 活動団体

なし